

ドングリ みわけ図鑑

きょうと☆
いきもの調査

トゲトゲぼうしのなかま

トゲが ぶん厚い

アベマキ ●
ゴツゴツしている
ふあつ ぶん厚い
ペラペラしている
うす 薄い
はり 針のよう

クリ ●
葉のギザギザは
ふちまで葉の色がある

カシワ ●
柏餅の葉っぱに
使われる
先が細く
長く伸びる

クヌギ ●
葉のギザギザは
とげの先まで葉の
色がない
落ち葉の
裏面は白くない

落ち葉の裏面は
白っぽい

ピスタチオ ぼうしのなかま

ドングリが

まる 丸い

ほそなが 細長い

なが 長い

三角錐

ぼうしに
ついた柄が

みじか 短い

ツブラジイ ●
まら 丸い
表 裏
ドングリが生でも
食べられる

スタジイ ●
上から見るとさんかく
さんかくすい
葉っぱ
てかてか!

イヌブナ ●
葉の裏には
毛がたくさん!
長い
実ははずれている
ことが多い
どちらも山地で
見られる
イヌブナより
大きい

ブナ ●
葉に毛は
ほぼない
短い

☆ みわけポイント ☆

- 1 ぼうし(殻斗)をチェック!
 - 2 大きさ、形をチェック
 - 3 葉っぱをチェック
- ちか 近くに
お 落ちて
いるよ
- ぼうし(殻斗) →
- ドングリ(堅果) →

ウロコぼうしのなかま

ドングリのでっぺんが

へこむ

へこまない

ドングリのかたち

ぼうしのウロコが

らくようじゅ 落葉樹 ●
秋に葉を落とす木

じょうりくじゅ 常緑樹 ●
1年中葉を
落とさない木

ココ

シマシマ ぼうしのなかま

ぼうしに
毛が

めだ 目立つ

めだ 目立たない

イチイガシ ●
葉の裏面は
黄褐色
ドングリに
縦縞が目立つ
毛が目立つ

ツクバネガシ ●
葉裏は黄緑
ドングリに
縦縞が目立つ
柄が短い

アラカシ ●
生垣などにもよく使われる
この辺りが
一番太い

ウラジロガシ ●
葉裏は少し白い

シラカシ ●
シラカシ、
ウラジロガシより幅広
葉裏は緑

アカガシ ●
葉はアカガシ
の方が大きい
葉裏は緑
波打つ
長い

ウラジロガシ ●
葉のふちは
触ると痛い
葉の裏白い

シリブカガシ ●

まる 丸い

カーブしている

葉の表面
凸凹目立つ

白いろう状のものが
ドングリに付く

ながぼそ 長細い

マテバシイ ●
ずんどう
ドングリは
食べられる
8-25cm ほど

コナラ ●

ちい 小さい

へいめん 平面

小型。
2.5cm 未満

丸っこいもの、
長細いもの、形は様々

備長炭の材料になるよ

ウバメガシ ●
柄に毛がある

葉は枝先に
集まって付く

ナラガシワ ●

おお 大きい

りったいてき 立体的

柄は 2-3cm

形はコナラに似ているが、
一回り大きい

ミズナラ ●
柄はほぼない

きょうと☆ いきもの調査

2024

みんなでドングリを調べよう！

きょうと生物多様性センターでは、身近な自然環境の現状を把握することを目的に、昨年引き続き今年もドングリをテーマに住民参加型の生物調査を実施します！

「ドングリ」とは？

ブナ科というグループの木の果のこと指し、クヌギ・クリ・アラカシなど多くの種が知られています。山間部だけでなく、公園や道路沿い、住宅の庭など様々な場所で目にする事が出来るため、なじみのある方も多いのではないのでしょうか。京都府内には、20種以上のドングリが生えていることが分かっていますが、京都全体ではどのような場所にどのような種類が生えているかなど、詳細が分かっていないことも多くあります。

調査対象種

府内で見られる
ドングリの仲間



報告内容

見つけたドングリ・月日・場所
(任意：写真、気付いたこと)
(例：昨年と比べてドングリが少ないなど)

報告いただいた内容はセンターで
取りまとめ、HPなどで公開します！

調査期間

令和6年9月25日
～令和6年12月31日

報告方法

ポータルサイト
「京・生きものミュージアム」上で報告
(<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/report-donguri/>)



お寄せいただいたドングリ情報は、
随時 HP にて公開中！

—お問合せ—

きょうと生物多様性センター
Tel : 075-354-5275
Mail: contact@kyotobdc.jp

HP



X



Instagram



R50

古紙パルプ配合率60%再生紙を使用